



常陽中 だより

令和元年 12月 25日
尼崎市立常陽中学校
校長 徳山 壮一

15

明日から 冬休み！！



いよいよ13日間の冬休みが始まります。冬休みは、1年の中でも一番短い休みですが、『正月』という節目があります。『1年の計は元旦にあり』のことわざ通り、過ぎた1年を静かに振り返るとともに、来るべき新年の目標を定め、計画を立てるのに最適な休みです。学習面・生活面・体力面のそれぞれに目標を定め、その達成のために頑張ることのできる生活を目指しましょう。『いい目』『いい顔』の常陽中学校の生徒の皆さんと3学期始業式に再会できることを楽しみにしています。

始業式 令和2年1月8日(水)

保護者の皆様へ・・・ 個人懇談会。寒い中、学校へ足を運んでいただきありがとうございました。冬休みは、夏休みや春休みと違いクリスマス・大晦日・お正月とイベントが続き、家族が集まる機会が多くなると思います。そこでお願いですが、できるだけ多くお子様とお話しをする時間を作って下さい。また、家族の一員として家のお手伝いを責任を持って取り組ませて下さい。

1年生の皆さんへ・・・ 合唱コンクール・文化発表会・マラソン大会などの学校行事をとおして、学級や学年の仲間とともに中学生として大きく成長できました。3学期、更なる成長を願っています。君達には無限の可能性があります。

2年生の皆さんへ・・・ トライやるウィーク 京都への校外学習など、全てのことによく頑張りました。3学期、いよいよ君達の時代がやってきます。3年生が築いてきた伝統を守り、学校の主役としての活躍を期待しています。君達なら必ず素晴らしい学校の顔になれると信じています。



3年生の皆さんへ・・・ 2学期、大きな行事がありましたが、常に学校の主役としてリーダーシップを発揮し、後輩の見本になるべくよく頑張りました。冬休みはじっくりと腰を落着けて学習するチャンスです。君達は、とても素晴らしい力を持っています。自分を信じてコツコツと努力を積み重ね、夢・目標を叶えて下さい。応援しています。

合格のための 心がまえ7ヶ条



- その1 『自分は絶対に合格するんだ』 自信を持て！
～マイナス発言NG プラス発言で夢・目標叶う～
- その2 『友達との学習』は要注意 学習は一人で！
～切磋琢磨、励まし合うことは大切ですが・・・～
- その3 不得意科目は基本問題を徹底すること！
～確実に得点をゲット～
- その4 志望校の過去問題を繰り返すこと！
～課題を見つけ、反復して自分の力に～
- その5 『ながら学習』は禁物！
～脳を学習にだけ集中～
- その6 わかるまで人に聴け！
～聴かぬは一生の恥～
- その7 規則正しい生活を！
～「早寝・早起き・朝ご飯」 心も体も健康に～



第37期 生徒会のメンバー

会長	梶村	梨唯
副会長	寺本	夢輝楽
文化委員長	小林	葵
体育委員長	鎌田	大輝
図書委員長	白濱	あおば
環境委員長	竹中	純音
執行委員	高松	マリエ
	高井	千穂

先輩が築いてきた伝統を引き継ぐとともに、積極的に新しい事に挑戦し、常陽中学校を、今以上に素晴らしい学校に作り上げていきましょう。君達なら必ずできる。期待しています。頑張ってください！！

第36期の生徒会執行部の皆さん お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。感謝しています。

吹奏楽部の活躍



12月22日(日)あましんアルカイックホールで、尼崎市吹奏楽連盟の第169回定期演奏会が開催され、常陽中学校の吹奏楽部の皆さんが出演しました。「平成ドラマ・テーマ・コレクション」など素晴らしい演奏を披露しました。次は、アンサンブルコンテストだ！

日時 12月28日(土) 13:58～
場所 東り いたみホール 頑張ってね！！



クリスマス・セーター クレン・ベック 作

エディーは12才の少年です。家族3人で幸せな生活を送っていましたが、お父さんが病気でなくなり生活が一変します。お母さんは、一生懸命に働きますが暮らしは苦しく、エディーはいろいろな我慢を強いられます。でも今年のクリスマスプレゼントこそ、以前からほしかった赤い自転車がもらえると期待していましたが、プレゼントはお母さんの手編みのセーターでした。家が貧しいことはわかっていますが、エディーの落胆ぶりは大きいものでした。その小さな不満をきっかけに、最愛のお母さんを交通事故でなくしてしまいます。お母さんを亡くしてしまって初めて、エディーは失ったものの大きさに気がつきます。貧しくてもお母さんがいるだけで幸せだった。自転車などいらなかった・・・。



この話から君達に伝えたいことは『相手の立場・気持ち・思いを理解し言動できる人に成長してほしい』ということなんです。最愛の母親を失うことになった原因は、エディーが母親の気持ちをわかってしななかったからです。息子がどんなに自転車を欲しがっているのか、わかっているも買ってあげることができない母親のつらい気持ちを理解しようとしていけば、心のこもった手編みのセーターで十分にうれしいと思えるはずです。エディーが母親の気持ちを理解しようとしていけばこのような悲劇は起きませんでした。相手のことを自分のことのように考え・思いやれる人に成長して下さい。終業式 校長講話より